



野田小だより

学校教育目標

- がんばる子
- やさしい子
- 学びつづける子



11月 野田のお天道様

平成28年11月 1日

校長 三澤 仁生

校庭のハナミズキの葉も色づき始め、朝晩も次第に冷え込みを感じられるようになってきた11月。いよいよ秋も深まってきました。

運動会が大成功に終わった9月に引き続き、10月も大きな行事がたくさん行われました。

その中で、13日(木)から14日(金)にかけて、6年生は、奥日光湯元及び東照宮方面に修学旅行に行ってきました。出発時は薄曇り、いろは坂にさしかかった頃には、頭上は濃い霧に包まれており、またまた天気に見放されてしまったかと思いましたが、華厳の滝での記念撮影では霧が晴れ始め、中禅寺湖の湖面を覆う霧が見る見るうちに晴れていく様子は、神秘的でもありました。

その後は、少し寒い風が吹いてはいましたが、絶好のハイキング日和となり、戦場ヶ原の大自然を満喫することができました。

さて、私が子どもの頃には、「お天道様が見ている」という表現をよく聞きました。これは、ご存知のように、「誰も見ていないと思っても、高い空からお天道様(地域の人たち)が見ているから、悪いことをしてはいけないよ。」という、地域のコミュニティーがしっかりしていて、みんなで子どもを育てることができていた頃の表現でもあります。

隣に誰が住んでいるか分からない。近所の人とすれ違っても、声を掛けない。ましてや、近所に住んでいる子どもの顔も名前も分からないなど、とかく人間関係が希薄と言われる今の時代ですが、着任以来3年間、保護者・地域の皆様に守られて、子どもたちは、安心して健やかに成長することができています。野田の地域には、お天道様がまだまだ健在のようです。

まさに霧が晴れ、姿を現した華厳の滝



戦場ヶ原からの男体山



中禅寺湖遊覧船からの日光白根山



楽しく分かりやすい説明をされたガイドの田中さん